

カテーテルで治す弁膜症

治療の選択肢として、胸を開かずにカテーテルを用いて弁を治療する方法が導入されています。例として、大動脈弁狭窄症に対する「TAVI」や、僧帽弁閉鎖不全症に対する弁をクリップでつまむことで逆流を抑える治療があります。

弁膜症は症状に気づきにくいことがあるため、診断には心臓超音波検査（心エコー検査）が重要です。特に65歳以上の方は一度検査を受けてみるのが推奨されています。

Q 弁膜症に対してカテーテル手術が可能と聞きました。どういったことなのでしょうか？

A 心臓には血液を逆流させないための4つの弁

があり、開閉の異常によって血流が妨げられたり逆流したりすると弁膜症になります。近年は、高齢化による弁の変性や石灰化が原因のケースが増えており、特に僧帽弁や大動脈弁で見られます。

異変を感じたら
早めに医療機関を
受診しましょう



院長 **北村 秀綱**
一般社団法人日本循環器学会認定
循環器専門医／神戸大学医学博士

医療法人社団 佳祥会
北村内科クリニック
内科・循環器内科・呼吸器内科・アレルギー科・美容内科

お電話でのご予約・お問い合わせはこちら

☎ **079-423-8000**

電話受付／9～12時・15～18時
休診日／木・土午後、日、祝

兵庫県加古川市尾上町池田745-3 <https://kitamura-med.com>